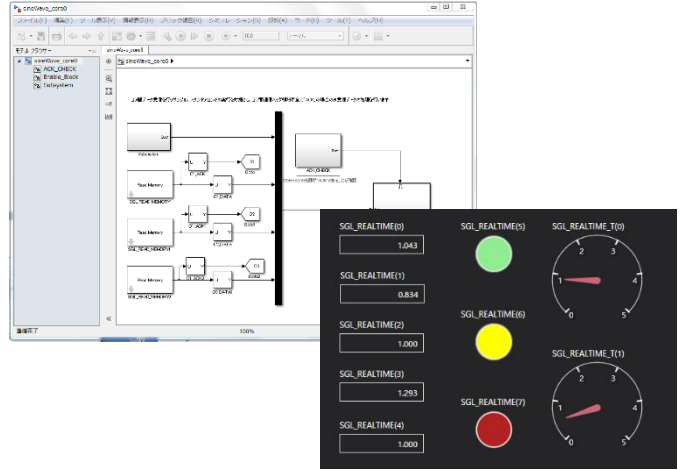


PASS-SEAGULL-WPF

MATLAB/Simulink インターフェイスソフトウェア

- Simulink で作成したモデルを SEAGULL[®] で実行
- SEAGULL[®] の各種 I/O ボードを使用可能
- 複数台の SEAGULL[®] を制御・モニタリング
- 制御結果のリアルタイム保存
- スタンドアロンで動作するプログラムに対応
- 制御 GUI ツールをユーザで自由にレイアウト可能



実行環境

PC	OS	Windows 10 / 11 64bit 版
	MATLAB ※1	MATLAB R2015a 以降 ※2
	DSP コンパイラ	Code Composer Studio Ver.6.2.0 ※3
DSP ボード		RPT0-00A
I/O ボード		各種 SEAGULL [®] I/O ボード 16bit AD, 24bit AD, 16bit DA, 24bit DA,DI/CNT, DO/PWM, DIO (RS-422), シリアルエンコーダ(調歩同期、クロック同期), Serial RapidIO, PMC (リフレクティブメモリ), CAN, シリアル通信 (RS-232/RS-422/RS-485), I ² C, SPI, XMC (熱電対)

※1 : MATLAB , Simulink , MATLAB Coder , Simulink Coder が必須となります。

※2 : 最新 MATLAB バージョンへの対応については、弊社窓口までお問い合わせください。

※3 : Texas Instruments Inc.の Web サイトよりフリーダウンロード可能です。URL: http://processors.wiki.ti.com/index.php/Download_CCS

DSP 制御ソフト開発フロー

<p>モデル作成</p>	<p>Simulink で弊社の提供する SEAGULL[®] I/O ブロックを含むモデルを作成します。</p>
<p>DSP 実行プログラムの生成</p>	<p>Simulink Coder が Simulink モデルから C コードを生成し、DSP コンパイラを使用してビルドを行います。</p> <pre> C:\WinPass\Seagull\passLib\rs_elf.lib *** (D) Created executable: sineWave_core0.out ### 次のモデルに対するビルド プロセスが正常に終了: sineWave_core0 </pre>

ホストアプリケーション機能概要

<p>SEAGULL へのダウンロード</p>	<p>Simulink Coder でビルドした DSP プログラムを SEAGULL[®] にダウンロードします。</p>
<p>実行制御</p>	<p>DSP プログラムの実行/停止を制御します。</p>
<p>モニタリング、データ保存</p>	<p>任意の信号の数値表示、Simulink モデルで指定した信号のグラフ表示およびデータ保存をリアルタイムで行います。ホストアプリケーションからの指示による保存開始の他、I/O からの入力信号を保存開始トリガ信号として使用することも可能です。</p>
<p>制御 GUI ツール</p>	<p>用途に合わせて制御 GUI ツールを自由にレイアウト可能です。</p> <p>グラフ : 信号の波形を表示⇨</p> <p>FFT グラフ : 波形を高速フーリエ変換して表示⇨</p> <p>XY グラフ : 任意の 2 信号を XY グラフで表示⇨</p>